

2008.12.10

市公共施設のアスベスト調査結果と今後の対応について

藤沢市ではアスベストが社会問題化した平成17年以降、公共施設のアスベストの使用状況を調査し、その結果を踏まえて必要な対策を講じてまいりました。一方、本年2月に厚生労働省よりこれまで国内で使用されていないとされてきた3種類のアスベスト（アクチノライト・アンソフィライト・トレモライト）についての公共施設での使用状況調査を徹底するよう指示がありました。

これを受けまして、本市所管施設についても以前にアスベストの含有が確認された箇所を除いた全ての施設に対して、上記3種類のアスベスト使用の有無について再度分析を行う必要が生じたので、改めて全施設を調査し、分析の必要のある88施設について、本年7月以降に分析を行ってまいりました。

その分析の結果、分析対象全88施設のうち4施設についてはアスベストの含有が新たに確認され、残る84施設については含有が確認されませんでした。新たにアスベスト含有が確認された4施設において飛散調査を行ったところ、全ての施設において問題はありませんでした。これは、世界保健機関（WHO）が国際的な基準としてまとめている「環境保健クライテリア」の中で「世界の都市部の一般環境中におけるアスベスト濃度は、空気1リットルあたり1本以下から10本であり、この数値であれば健康リスクは検出できないほど低い」と述べており、今回の飛散調査結果では、いずれの施設もそれ以下の数値であったことから判断したものでありますが、念のため、アスベストを除去するまでの間は定期的に飛散調査を行ってまいります。

なお、4施設のアスベストについては今年度より順次計画的に除去をしてまいります。除去工事の際には、飛散防止措置やアスベスト除去工事である旨の掲示をするなど各種法令等を遵守し、適切な対応を図ってまいります。

今後とも市民の皆さんが安心して各施設を利用できるよう、必要な対策を講じてまいります。

問い合わせ

○調査結果について

……公共建築課 内線 4240 FAX50-8420

○市全体のアスベスト対応について

……行政総務課 内線 2212 FAX50-8402

今回の市公共施設アスベスト調査結果

	施設数		
	一般施設	学校施設	計
今回成分分析を行った施設	59	29	88
アスベストの含有が確認された施設	3	1	4

成分分析の結果アスベストの含有が確認された吹き付け材等を使用している施設一覧

○使用状況など

施設名	飛散調査 (本/L)	対応方針
辻堂市民センター	0.57 0.45	1階ホール及び1階トイレ前廊下の天井にひる石が吹き付けられています。 飛散調査結果から安全性は確認されていますが、市民の不安を払拭する観点から、除去を行います。
地方卸売市場	0.1未満	管理棟空調機械室の壁及び天井にひる石が吹き付けられています。 市民の立入のない密閉された機械室であり、飛散調査結果からも安全性が確認されているため、定期的な飛散調査を実施し監視を続け、除去を行います。
労働会館	0.1未満	地下機械室のダクトの継ぎ手材（工場製品）として使用されています。 施設管理者の定期的な立入はあるものの、市民の立入のない機械室であり、飛散調査結果からも安全性が確認されているため、定期的な飛散調査を実施し監視を続け、除去を行います。
高谷小学校	0.1未満	体育館の天井に布状のロックウール吸音材（工場製品）が断熱材として貼りつけられています。 飛散調査結果から安全性は確認されていますが、児童等の不安を払拭する観点から、除去を行います。なお、それまでの間は、ボールなどの接触による物理的損傷を防ぐための衝撃防止措置を講じます。

○辻堂市民センターにおける除去工事の概要について

工事期間（予定）

2008年12月末～2009年3月末

工事内容

1階ホール及び1階トイレ前廊下の天井材除去・復旧、電気設備及び空調設備撤去・復旧

○高谷小学校における除去工事等の概要について

①衝撃防止措置に係る対応

実施期間（予定）

2008年12月末

実施内容

屋内運動場天井下へ「防球ネット」を設置し、ボール等の接触による物理的損傷を防ぎます

②除去工事

工事期間（予定）

2009年5月～2009年8月

工事内容

屋内運動場天井のロックウール吸音材撤去・復旧